

世羅町立甲山中学校ホームページをご覧くださいありがとうございます。

本校は、昭和 41 (1966) 年に旧甲山町内の 4 つの中学校 (甲山中学校・宇津戸中学校・三川中学校・東中学校) が統合して開校以来、間もなく 60 年を迎える歴史を誇り、「自主・友愛・開拓」を校訓とする学校です。

当時の正門脇 (現在は、平成 16 年の新校舎落成により裏門となる。) には、明治 17 (1884) 年に広島県世羅郡三川村 (現・世羅町) に生まれ、その生涯を女子教育に捧げた大妻コタカ先生 (大妻女子大学創設者) の書かれた「愛郷崇祖」の碑が建てられていることから、その歴史と地域の皆様の本校に対する熱い思いが伺えます。

ある海外の研究では、平成 19 (2007) 年に日本で生まれた子供の半数が 107 歳より長く生きると推計されており、今の子供達は人生 100 年時代を生きることとなるでしょう。合わせて、グローバル化が進展し社会が複雑・多様化する中、将来の変化を予測することが極めて困難な時代を前に、逞しく生き抜くための資質・能力を育み、生涯にわたって探究し続ける未来の創り手として子供達を送り出していくという学校教育の責任はこれまで以上に大きくなっていると思っています。

こうした中、本校の教育活動では次の 3 点の基本を大事にしながら教職員が一丸となって取り組んで参ります。地域・保護者の皆様方におかれましては、引き続き本校へのご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

- ① 授業改善 校区内の 2 つの小学校と連携しながら、生徒の思考力・判断力や表現力の育成を目指した授業改善に取り組みます。
- ② 不登校対策 不登校をはじめとした集団生活に対する困り感を持つ生徒への特別な支援を目的に不登校 S S R (スペシャル・サポート・ルーム) を開設し、不登校の未然防止や不登校等生徒に対する支援の強化・充実を図って参ります。
- ③ コミュニティ・スクールの取組 学校運営に地域声を積極的に生かし、地域の皆様方と協働しながら「地域とともにある学校づくり」を進めて参ります。

令和 6 年 4 月

世羅町立甲山中学校長 西田光也